
平成 30 年度
女性の活躍推進に関する
事業所アンケート結果

【羽後町内事業所分】

平成 30 年 12 月

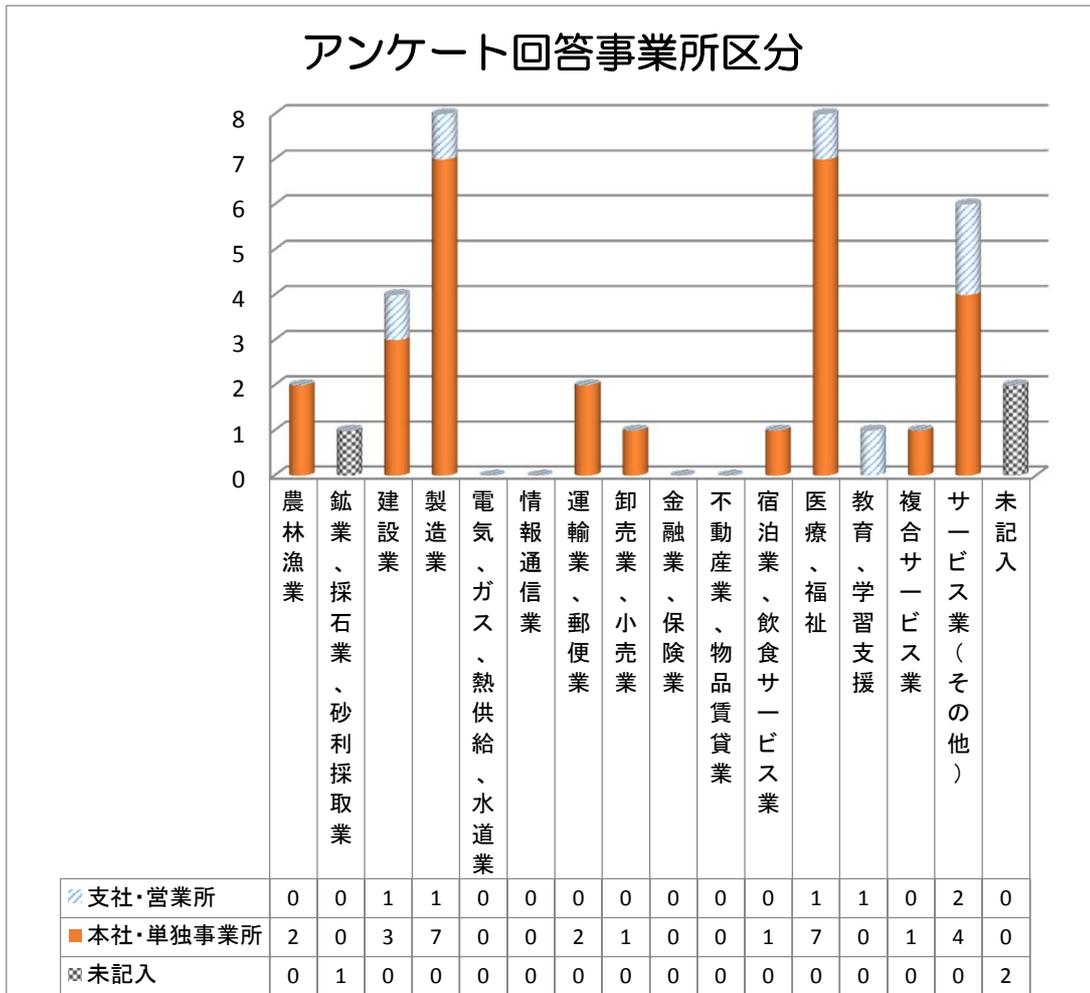
湯沢市

平成30年度 女性の活躍推進に関する事業所アンケート結果

1. アンケート送付事業所数 100事業所（秋田県雄勝郡羽後町内）
2. アンケート回答事業所数 37事業所（回答率37.0%）

3. アンケート集計結果

(2018年8月実施)



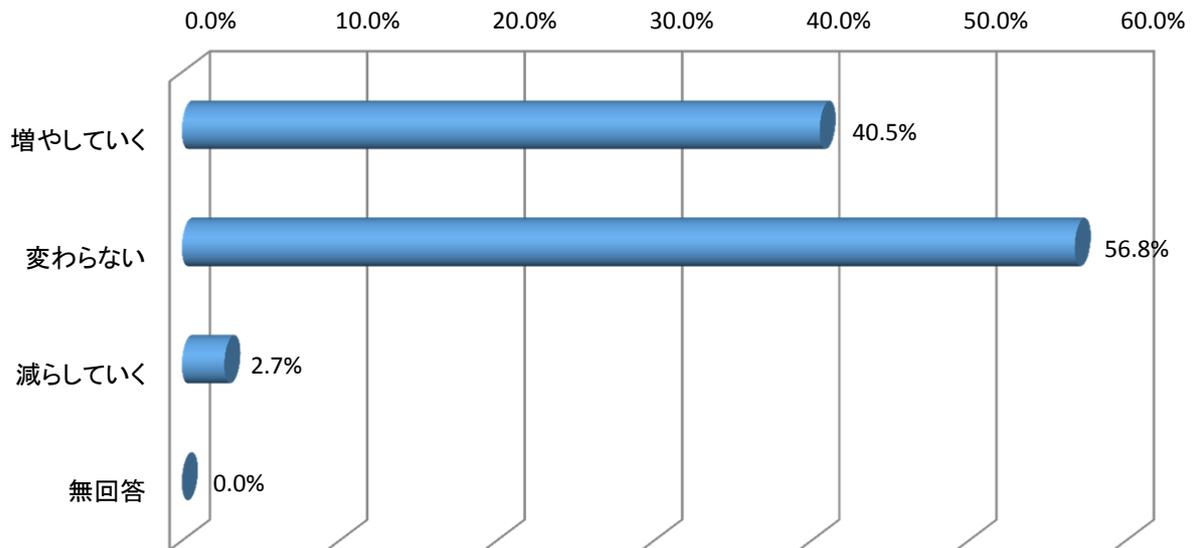
	男性	女性	計
全従業員数(人)	705	875	1,580
管理職人数(人)	97	29	126
非正規従業員(人)	155	313	468
平均年齢	47.3	42.4	44.9
平均勤続年数	12.4	11.5	12.0

- ・全従業員のうち女性の割合 55.4% (875/1,580人)
- ・管理職のうち女性の割合 23.0% (29/126人)
- ・女性管理職がない事業所の割合 48.6% (18/37事業所)

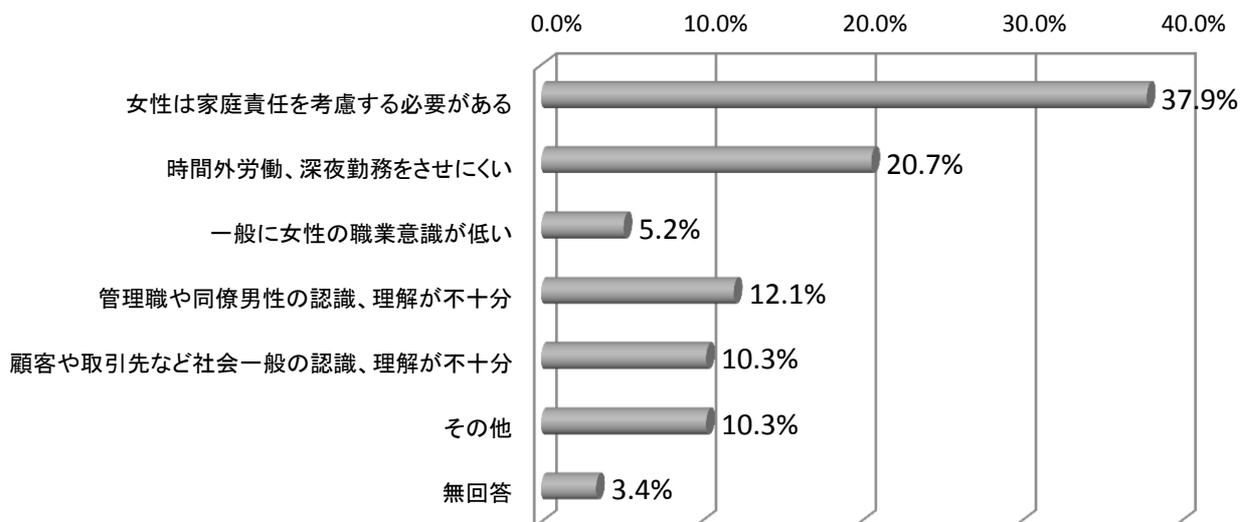
【集計結果の端数処理】

1. 回答比率は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、個別に積み上げたパーセントの合計が100%にならない場合があります。
2. 回答比率の分母となる回答数は、「n」として掲載しています。

【問1】女性従業員の比率を高めることについてどのように考えていますか。 <n=37>



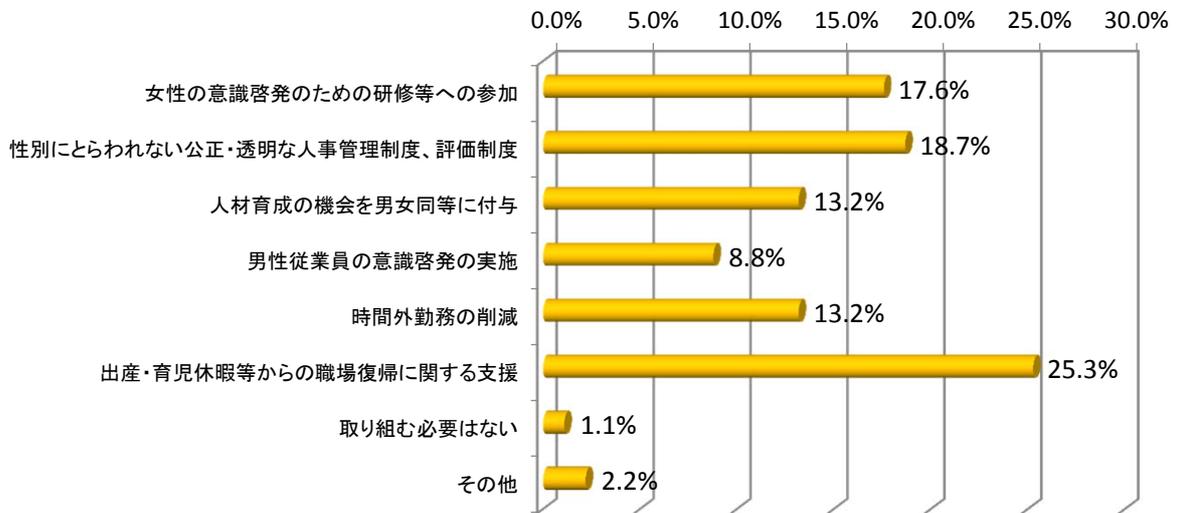
【問2】女性の活躍を進めるうえでどのような問題があると思いますか。 (複数回答可) <n=58>



【問2】その他

- ・総合事業のため女性職員の比率が高まりすぎても事業に支障が出る。
- ・問題なし。
- ・充分女性が活躍している。家事育児の大変さをお互いに理解しあって協力している。

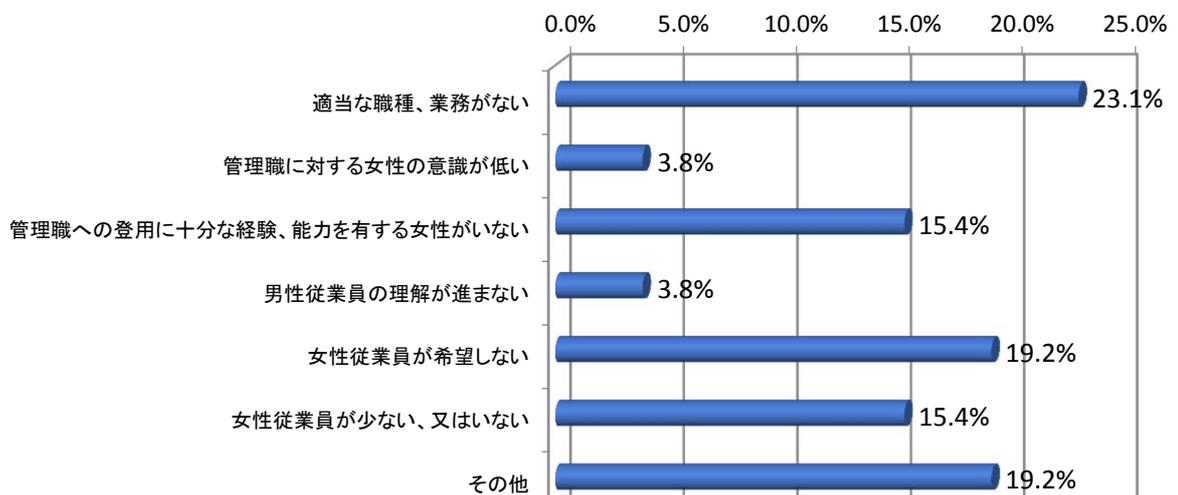
【問3】女性が能力を発揮するにあたって、どのような取り組みが必要だと思われますか。(複数回答可) <n=91>



【問3】その他

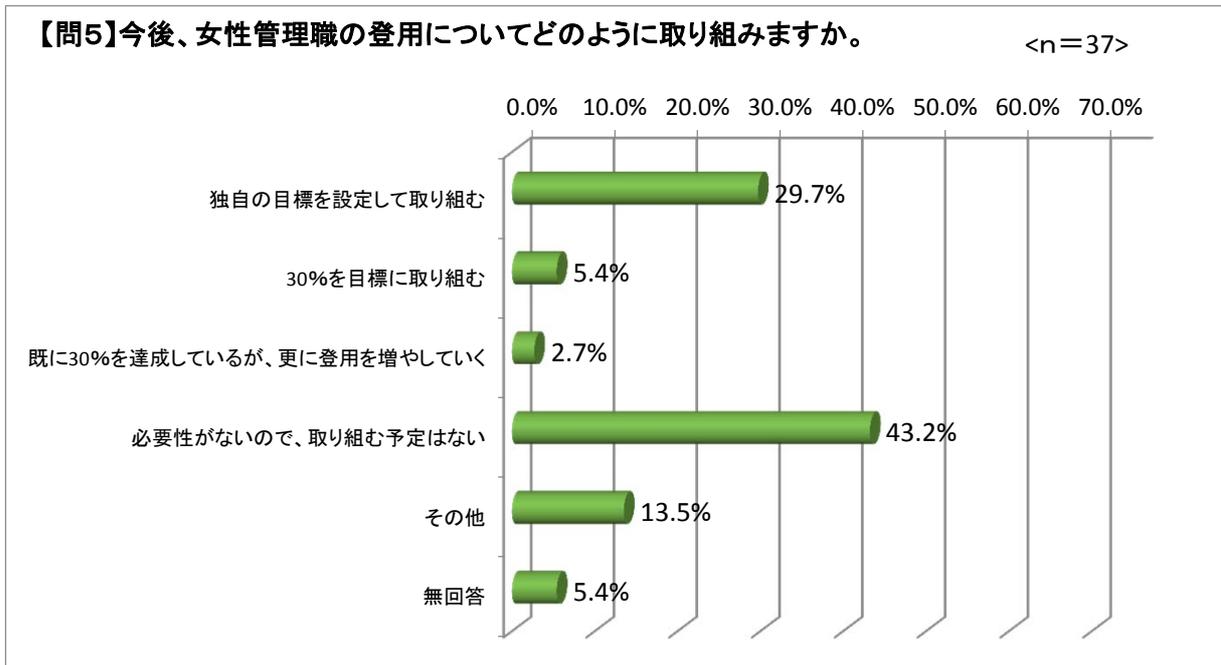
- ・事業所での取り組みには限りがあるので、国として女性の育児、家事支援を手厚くしてほしい。

【問4】女性管理職の人数が0人と回答された事業所におたずねします。その理由は何ですか。(複数回答可) <n=26>



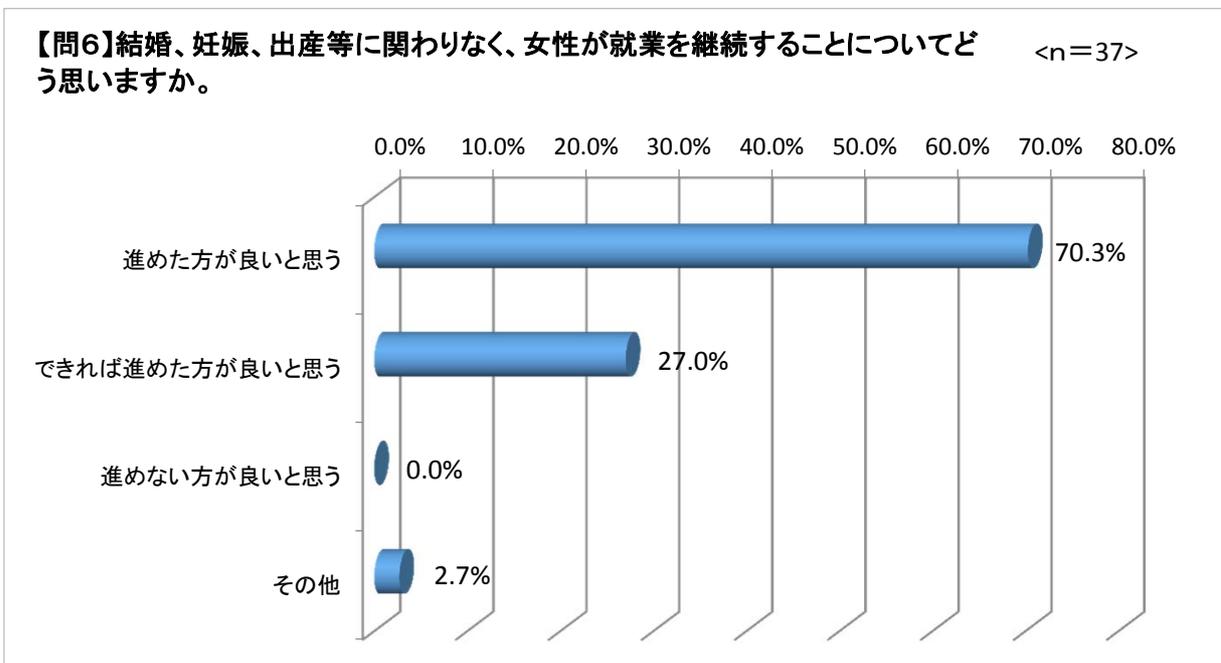
【問4】その他

- ・3の「管理職への登用に十分な経験・・・」に近いと思うが、昨年女性課長が任が重いと辞退した。
- ・平成29年度は女性管理職が1名いたが定年退職となり0名になった。
- ・たまたま配置がないだけ。他部署にはいる。



【問5】その他

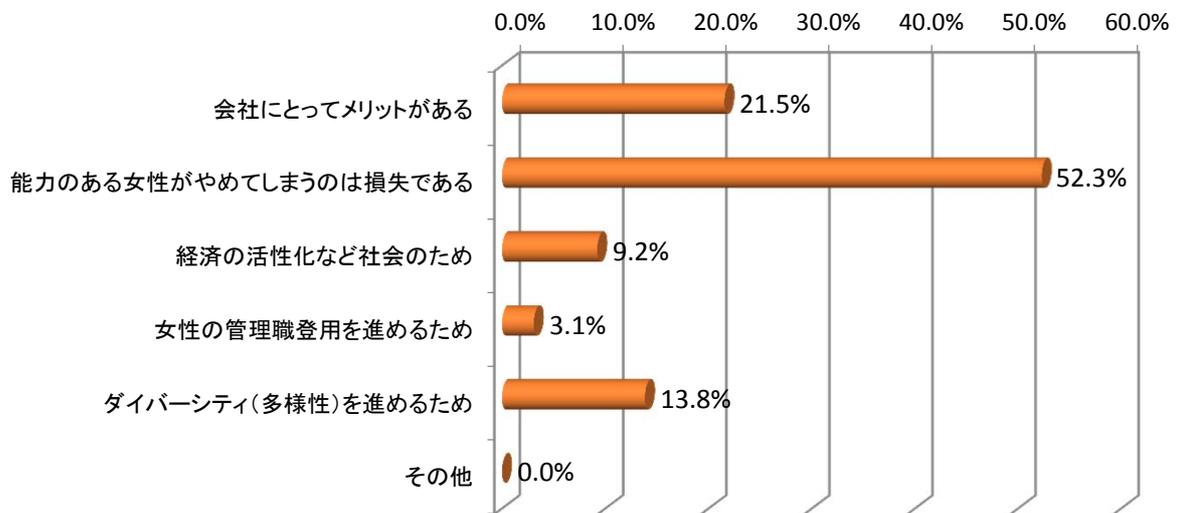
- ・2の「30%を目標に取り組む」に近いが50%を目標に取り組む。
- ・特に目標は設定しておらず、適任者がいれば登用する。
- ・すでに女性が管理職であり、長年そうになっている。



【問6】その他

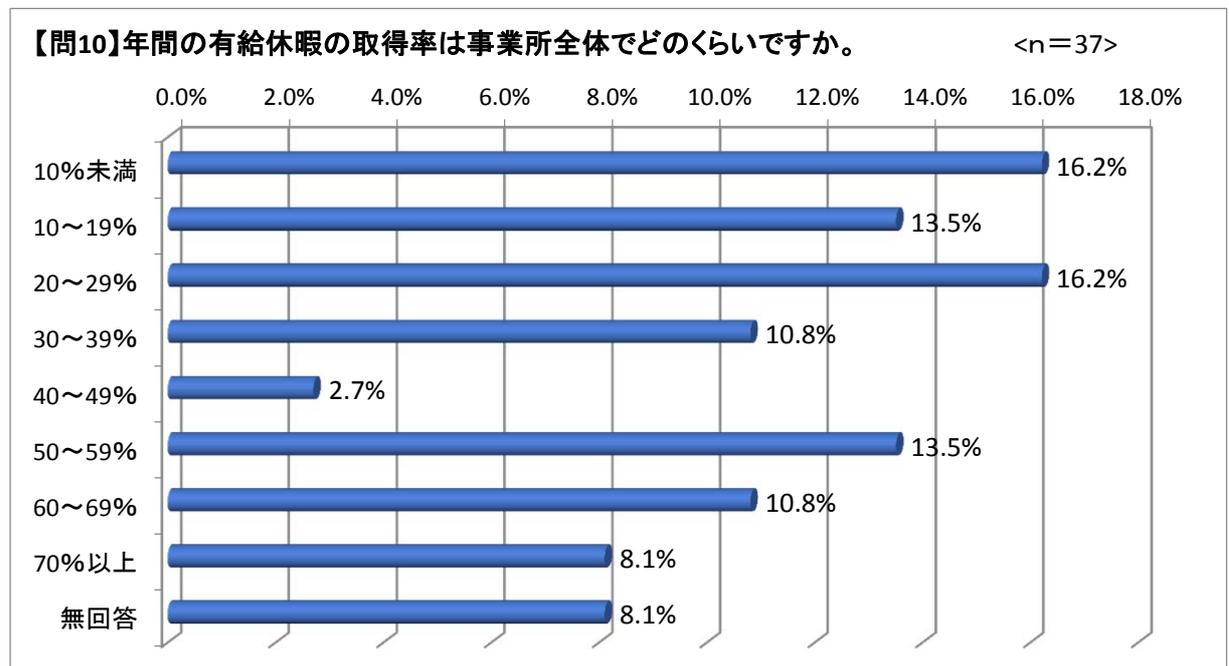
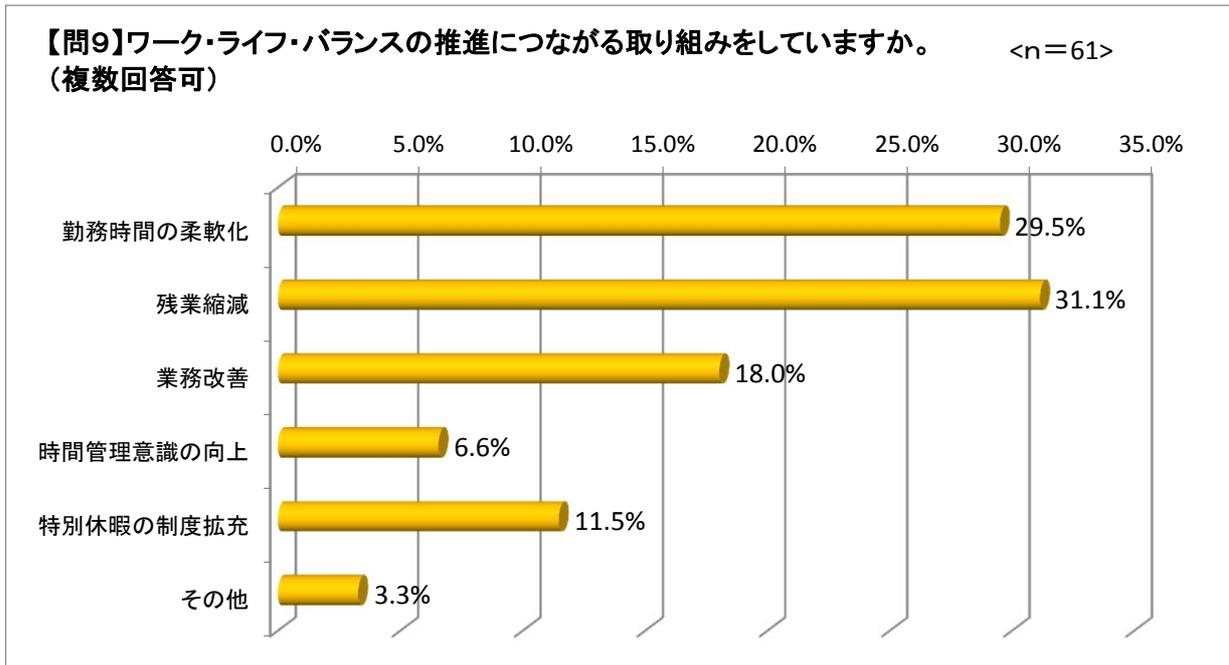
- ・進めている。

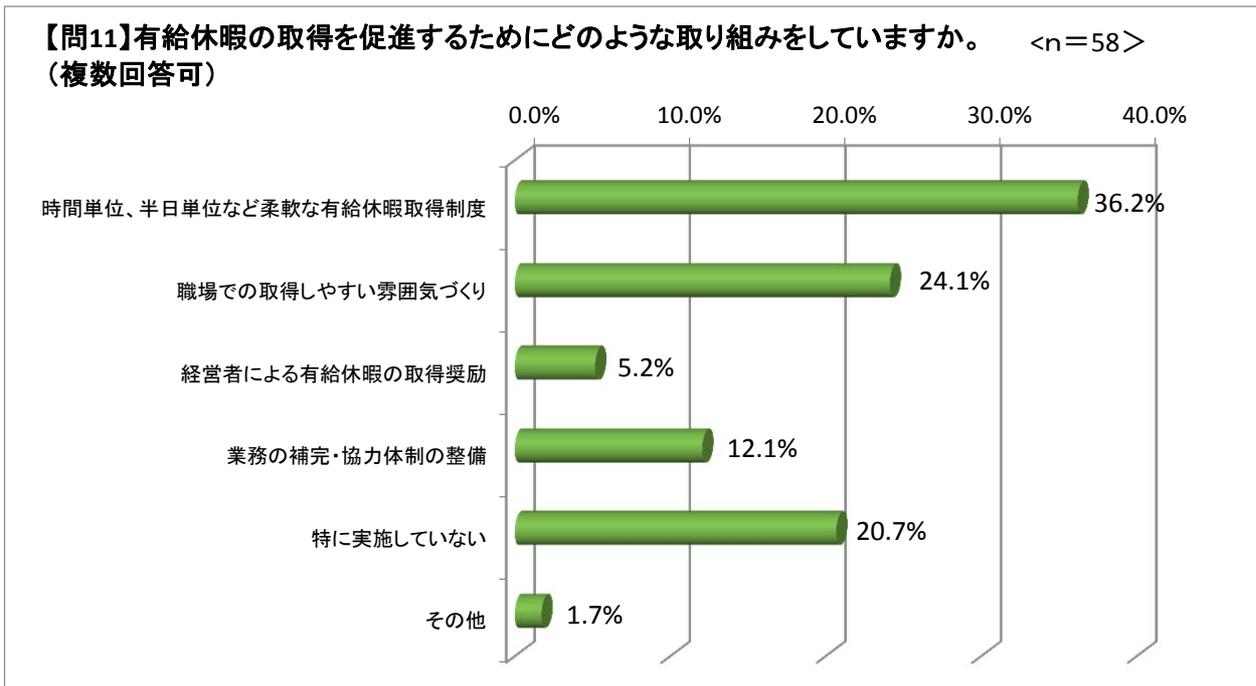
【問7】 問6で、「進めた方が良い」又は「できれば進めた方が良い」と回答された事業所におたずねします。その理由は何ですか。(複数回答可) <n=64>



【問8】 問6で「進めない方が良い」と回答された事業所におたずねします。その理由は何ですか。(複数回答可)

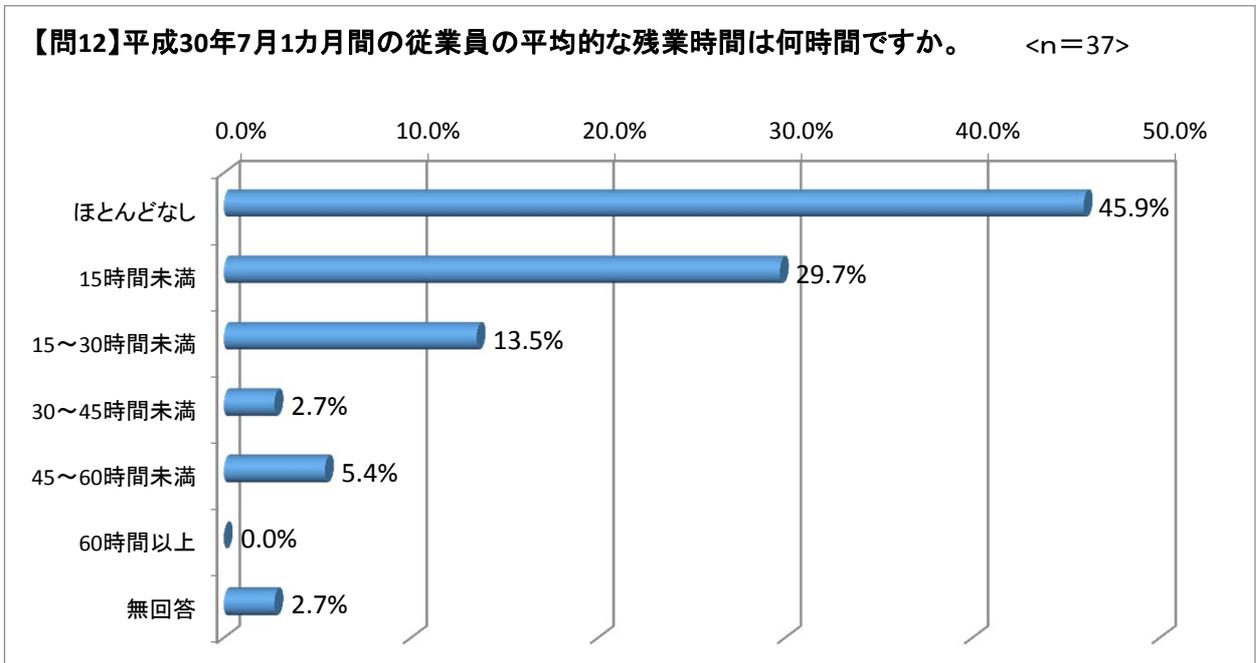
問6で「進めない方が良い」と回答した事業所はありませんでした。

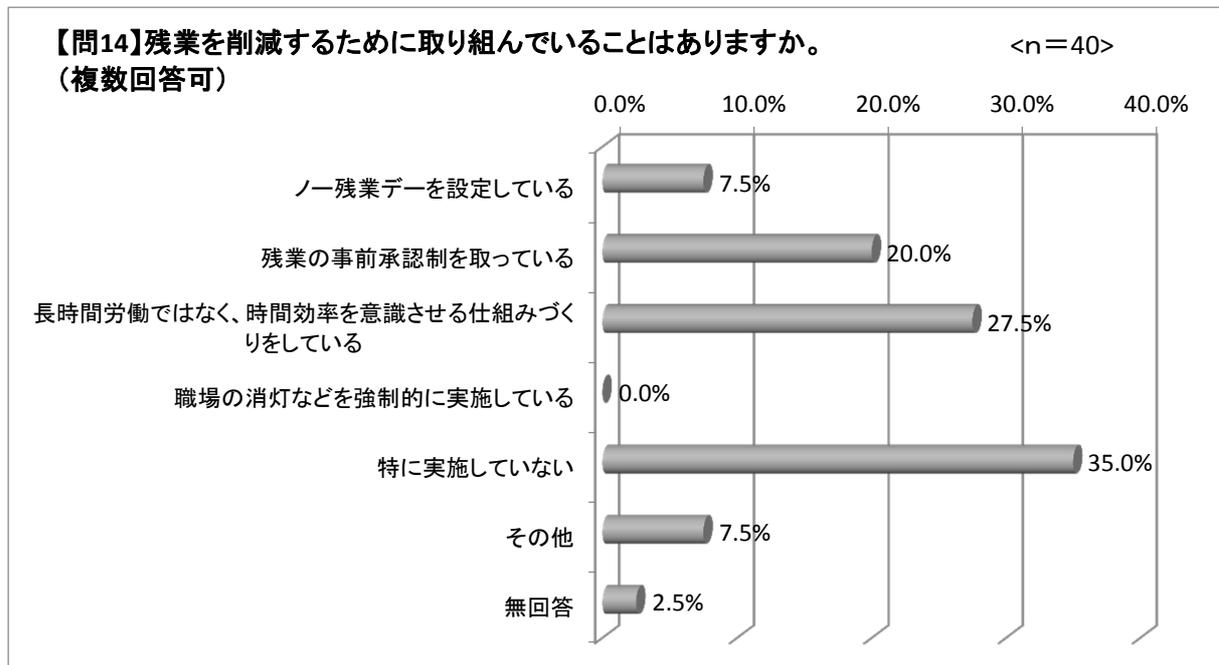
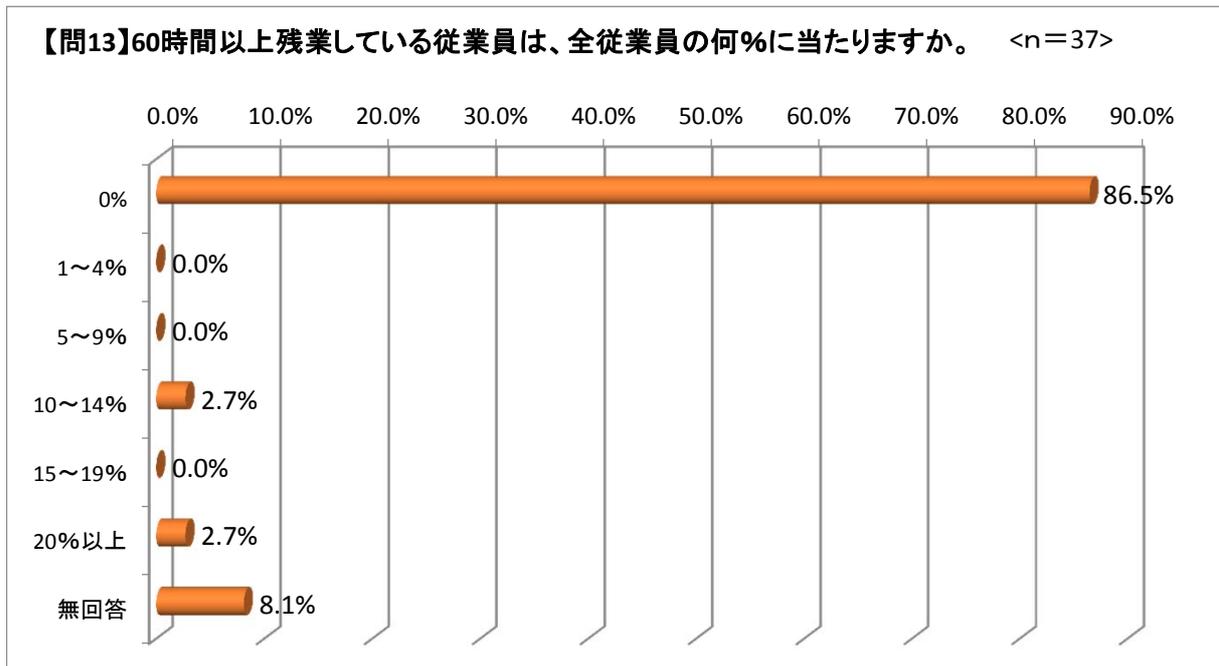




【問11】その他

・有給休暇取得率は32%だが、特別休暇、看護休暇、介護休暇を時間単位で取れるため利用が多い。

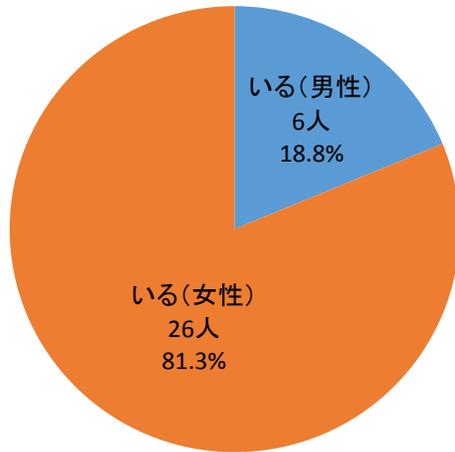




【問14】その他

- ・そこまでの仕事量がない。
- ・残業は仕事の進み具合による(0.5H~1H程度は有)。
- ・ローテーションを組んでいる。

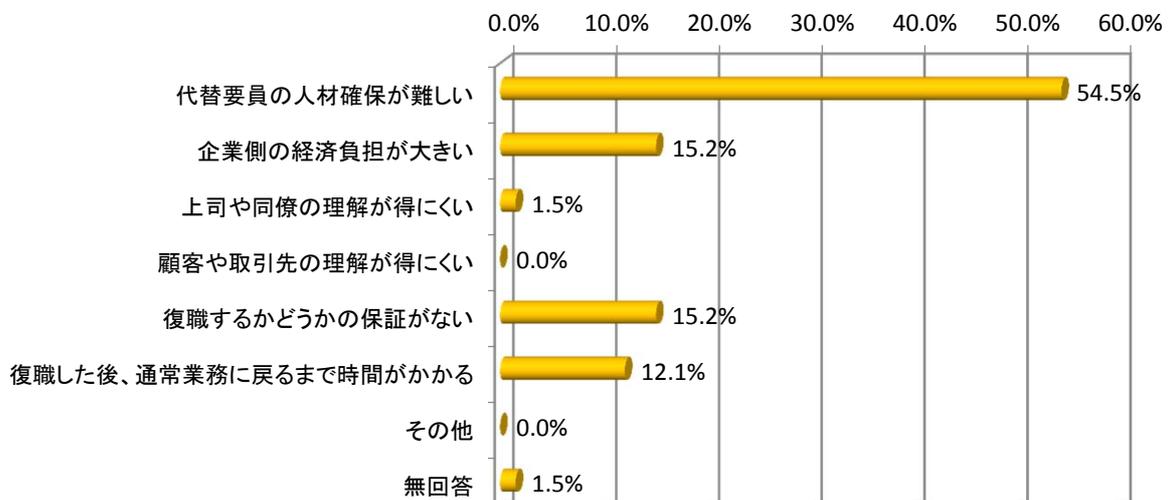
【問15】平成29年度に育児休業制度の対象となる従業員は何人いましたか。 <n=32>

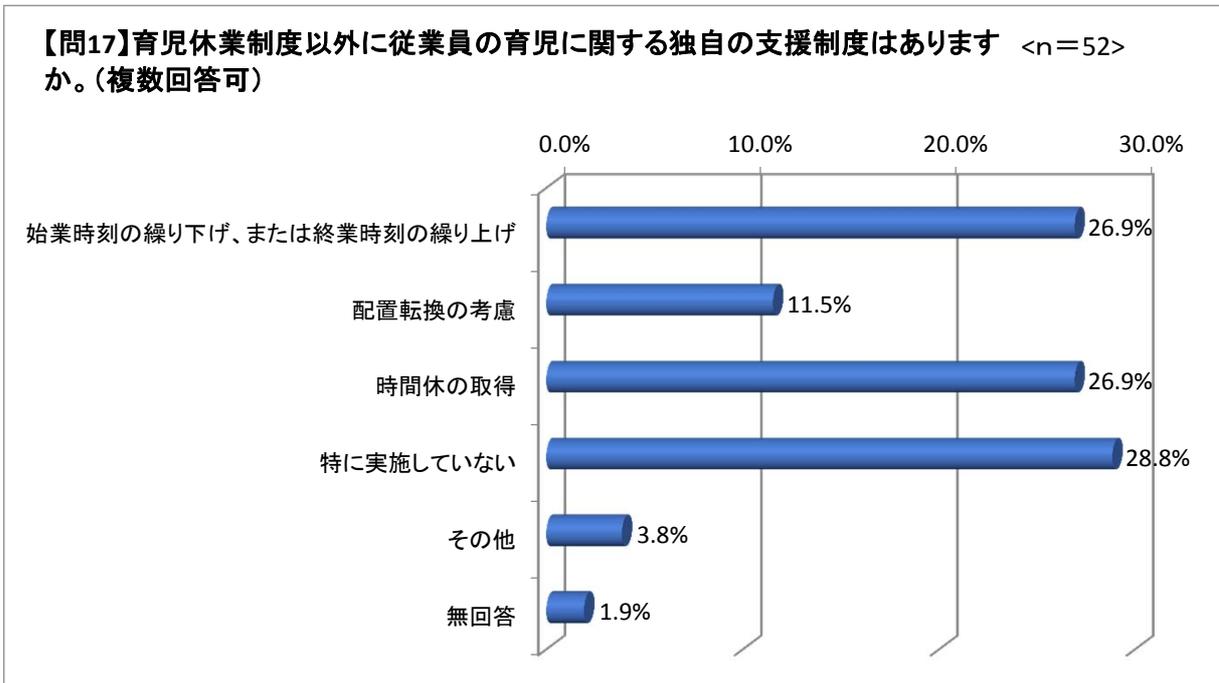


育児休業制度の対象となる従業員のうち、育児休業を取得した人とその割合

男性	0人 (0%)	<n=6>
女性	25人 (96.2%)	<n=26>

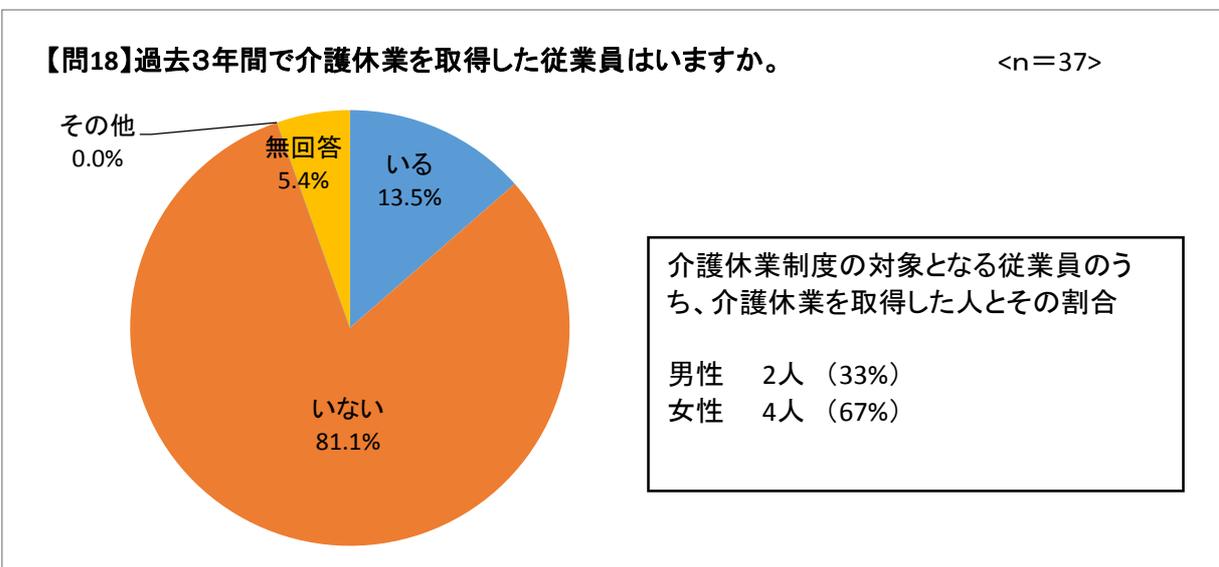
【問16】育児休業制度を利用する際にどのような課題があると思いますか。 <n=66>
(複数回答可)

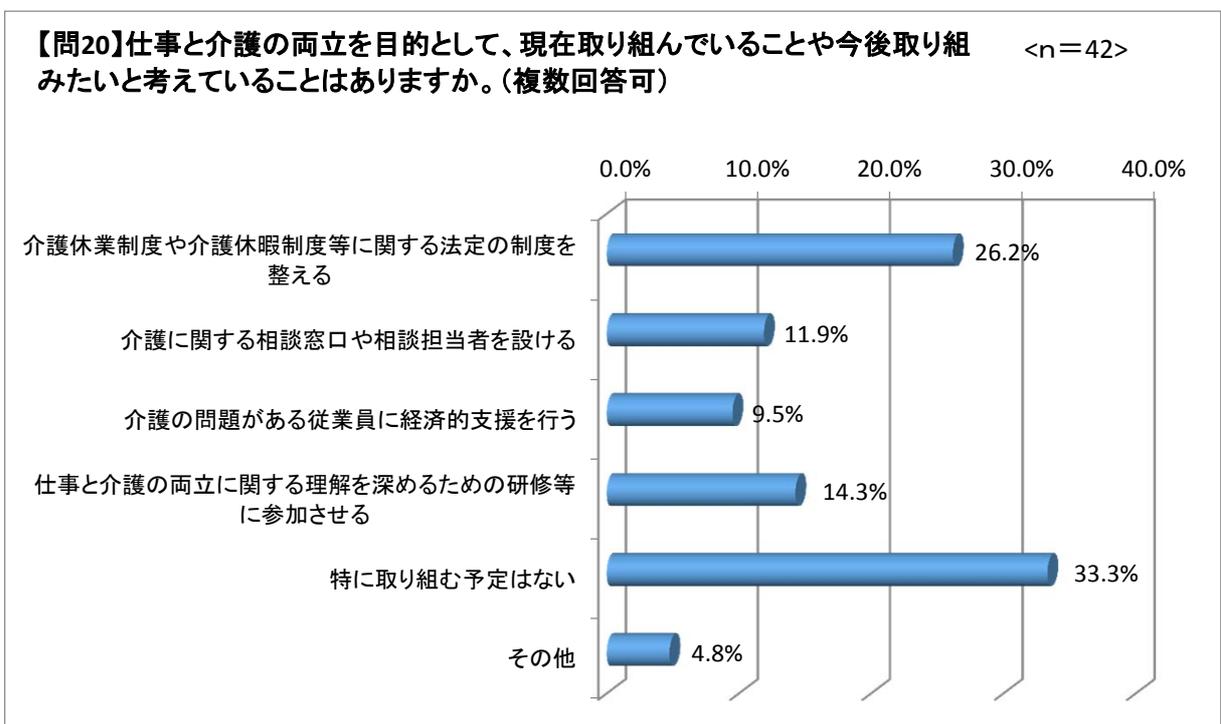
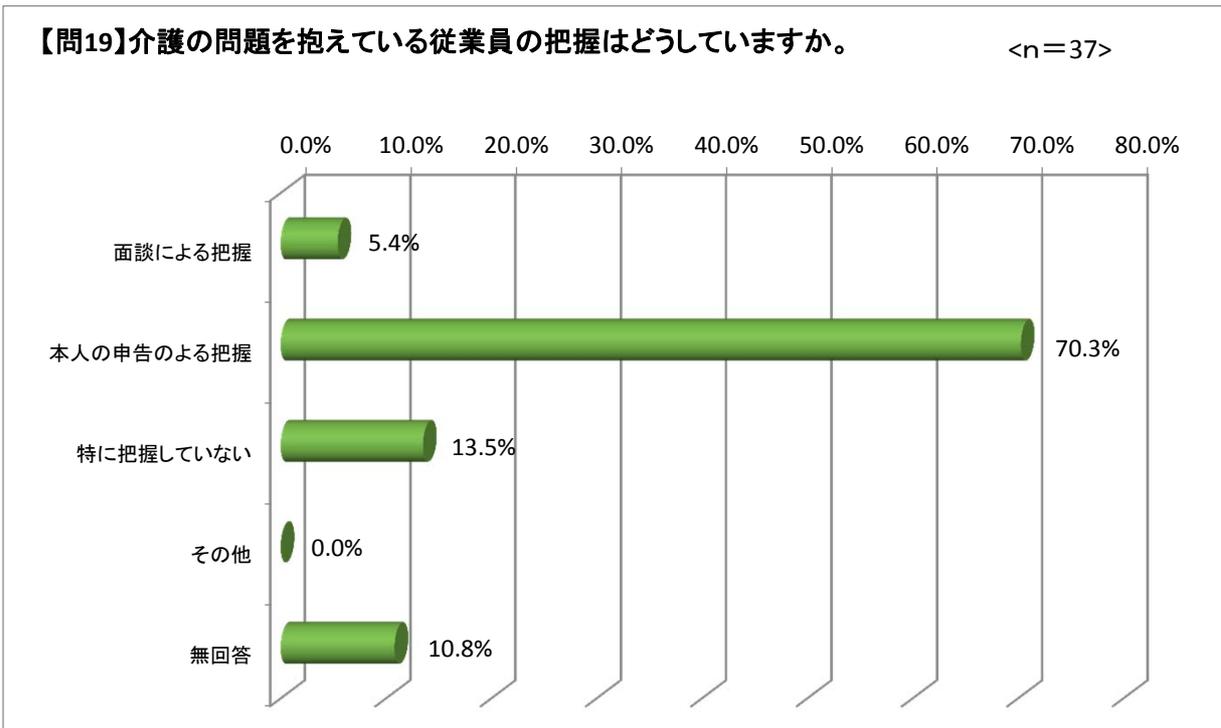




【問17】その他

- ・申請により小学校入学前の子供がいる方は所定労働時間の短縮、看護休暇が一人につき年5日ある。
- ・仕事内容の軽減。





【問21】 自由記述

➤ 育休取得に関しては、子育てを応援したい気持ちは強くあるが、職場復帰あるいはフルタイム勤務の復帰時期が本人から具体的に示されないと周りのスタッフへの負担が大きくなる(勤務時間、業務量だけでなく、精神的にも「いつまで休むの?」「いつになったら終業までいるの?」という不安→不満)。小さな職場だと代替スタッフを確保したり雇うことが難しい。→ハローワーク以外でも医療機関勤務経験がある方の登録情報等あれば人員不足の際に声をかけやすい。

➤ 経営者が社員の意見、考えをよく聞き、経営に反映させる事。能力のある女性社員にチャンスを与えること。

➤ 全ての分野で女性の活躍を期待したい。それには女性という「甘え」を捨て、覚悟と自己研鑽が必要である。これから益々女性が羽ばたく時代になると思う。



湯沢市協働事業推進課 協働のまちづくり班
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号
TEL 0183-55-8249 FAX 0183-73-2117
E-mail kyodo@city.yuzawa.lg.jp
市ホームページ <http://www.city-yuzawa.jp/>